

新見市健康運動事業に関するサウンディング型市場調査 結果の公表

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

1 サウンディング実施の経緯

新見市では、健康寿命の延伸を目的とした介護予防事業や健康増進事業を展開しておりますが、参加者の伸び悩みがあるのが現状です。住民同士の繋がりを大切にしながら、多くの方が気軽に継続して参加していただける新たな取組を構築していく必要があると考えており、様々な検討を進めています。

新見市の健康運動事業について、ゼロベースを基本とした外部委託の可能性を探り、民間事業者の専門的な知識や経験、ノウハウなどを活かした効果的な提案を広く求めるため、以下のとおりサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

2 サウンディングの実施スケジュール

令和 6 年 9 月 2 日	サウンディング実施要領の公表
令和 6 年 9 月 2 日～令和 6 年 1 0 月 3 1 日	サウンディングの実施
令和 6 年 1 1 月 1 5 日	サウンディング結果の公表

3 サウンディングの参加者

参加事業者数：1 事業者（健康福祉業）
形 態：個別対話（対面・非公開）

4 サウンディング結果の概要

対話項目	主な意見（概要）
介護予防事業について	・まず参加してもらうための動機づくりが非常に重要 ・例えば移動支援や買い物支援などと絡めた内容であれば、運動教室に参加するという目的以外にも、コミュニケーションの場・移動手段の確保・暑さ対策としての目的なども生まれ、動機づくりに繋がると考える。 ・事業を手厚く実施すればその分費用がかかるが、要介護認定を受けた人がいた場合に一人あたり介護保険給付費などがいくらかかるかというのはデータとして出ているので、費用対効果を考える上での参考となる。 ・参加料は無料とするのではなく、参加者にも負担してもらったほうがよいのではないかと考える。
健康増進事業について	・まず参加してもらうための動機づくりが非常に重要 ・ウォーキング事業はポイントなどのインセンティブをつけている自治体が多いが、インセンティブ自体が効果的かどうかは地域性が大きく、2 極化しやすいと言われている。車社会の地域の傾向としては、インセンティブが効果的でないケースが多い。 ・例えば農業従事者が多い地域では、どんな病気を抱えている人が多い傾向にあるか、日常のどんな行動がそのリスクになり

	やすいかがある程度データで分かっている。地域性などから特に特化すべき健康課題を明らかにし、具体的な指導を行うことも効果的だと考える。 ・若い人をターゲットにするならば、地域性を見ながら楽しく参加できるものがよい。
--	---

5 サウンディング結果を踏まえた 今後の方針

今回のサウンディング型市場調査では、新見市の地域性にあった新たな事業への検討を進めていくにあたり、まずは外部委託が可能か否かについて、ゼロベースの視点から意見交換を行いました。民間事業者の皆様から貴重なご提案をいただき、意見交換をさせていただいた結果、本検討内容は外部委託が可能と考えられるものであるということが分かりました。また、業務内容や公募条件の検討に関しても様々なご意見をいただくことができました。

今後は、今回の調査結果を踏まえ、事業構築に係る調査や内容の整理・検討を進めてまいります。

■健康運動事業に関する問い合わせ先

新見市福祉部健康医療課（電話 0867-72-6129）

■サウンディング調査に関する問い合わせ先

新見市総務部行政改革推進課（電話 0867-72-7760）